

レオナルド・ダ・ヴィンチ没後500年記念プロジェクト
世界初の試み 未完のダ・ヴィンチ作品など 31 作品を復元

2020年1月5日より、『夢の実現』展を開催

東京造形大学（学長：山際康之）は、レオナルド・ダ・ヴィンチ没後 500 年を記念し、世界で初めてレオナルド・ダ・ヴィンチの絵画、彫刻、建築、工学系発明品の合計 31 点の未完作品等を、最新の研究と技術を駆使して復元する全学的なプロジェクトに取り組んでいます。

本プロジェクトでは、レオナルド・ダ・ヴィンチの研究の第一人者であり、監修を務めた本学の教員である池上英洋を含め 7 名の指導教員のもと、本学の学生、大学院生、卒業生 約 100 名が参加し、ワーキング・グループごとに、復元作業を行っています。その集大成として、2020 年 1 月 5 日（日）より、復元した作品を一堂に展示する「夢の実現」展を代官山ヒルサイドフォーラム（会期：2020 年 1 月 5 日～2020 年 1 月 26 日）において開催いたします。

本プロジェクトおよび展覧会は、レオナルド・ダ・ヴィンチの絵画全 16 点を本来の姿で見たい、当時の技術では実現できなかった発明品を 500 年後の今の技術で実現したい、という願いから、本学が創立 50 余年の中で培ってきた「知と技能の蓄積」と、「固定観念にとらわれない、柔軟な発想力を育てる」という方針のもと、全学をあげて挑戦しています。レオナルド・ダ・ヴィンチがかつて描いた夢を、教員と学生が論理的に再現する試みは、まさしく「夢の実現」です。

「夢の実現」展 実施概要

名称： ダ・ヴィンチ没後 500 年 「夢の実現」展
実施期間： 2020 年 1 月 5 日（日）～2020 年 1 月 26 日（日）
実施場所： 代官山ヒルサイドフォーラム
総意匠数： 復元絵画作品16点、復元彫刻作品1点、復元建築作品2点、復元工学系発明品12
 点(予定)、その他展示

■ 東京造形大学について

1966 年に設立。服飾や室内建築のデザイナー／ジャーナリストであった桑澤洋子により、デザインや美術の創作活動を、時代の精神や社会の創造に深く結び付いたものと捉え、造形活動を広く社会的な観点から探究し実践する美術大学として開学。デザインと美術を「造形」という広い観点から総合的に捉え、固定概念にとらわれない柔軟な発想力で、学生の独自性を育む教育を実践している。2019 年より、タグライン『だれかで終わるな。』を制定。美術・デザインの高度な教育を通じて、学生一人ひとりの独自性の確立を支援し、試行錯誤をおそれず、しなやかさの中にも強さを持ち、自らの力で社会を切り拓く人材育成を目指している。

【本件に関するお問い合わせ先】

東京造形大学 企画・広報課

kikaku@zokei.ac.jp

TEL:042-637-8111 FAX:042-637-8110